

24 高齢者福祉

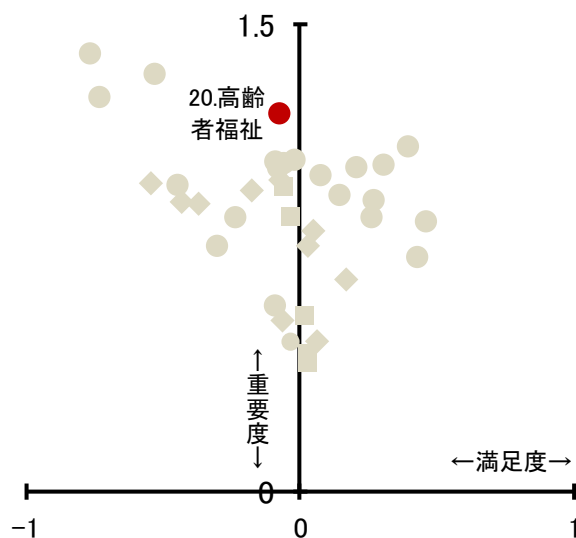
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

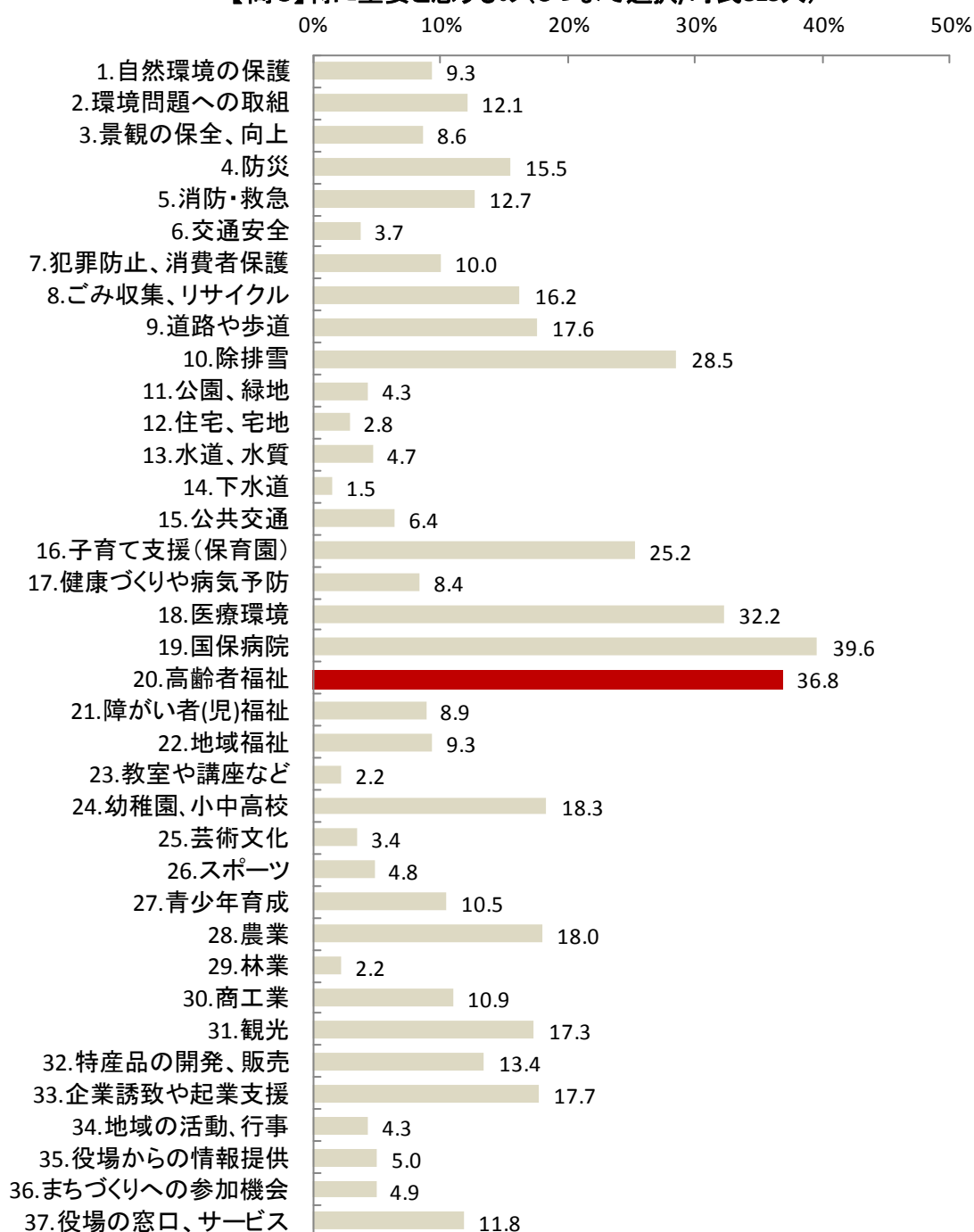
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)

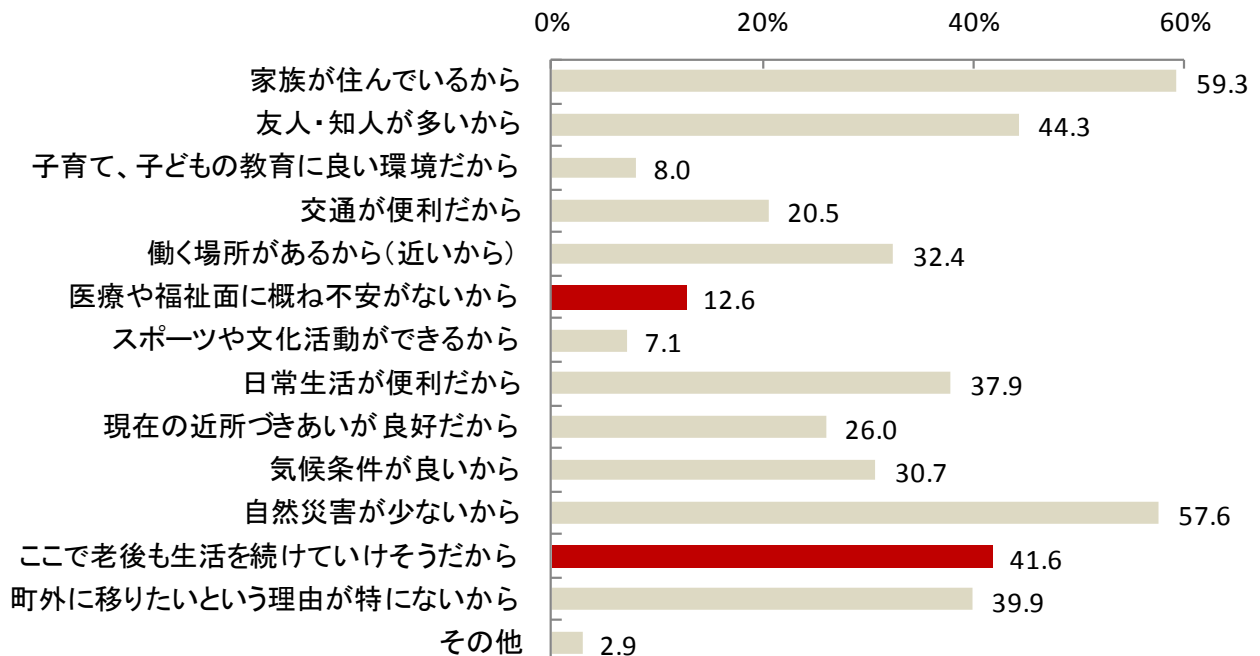


【問2】暮らしの満足度について(町民と中高生の比較)



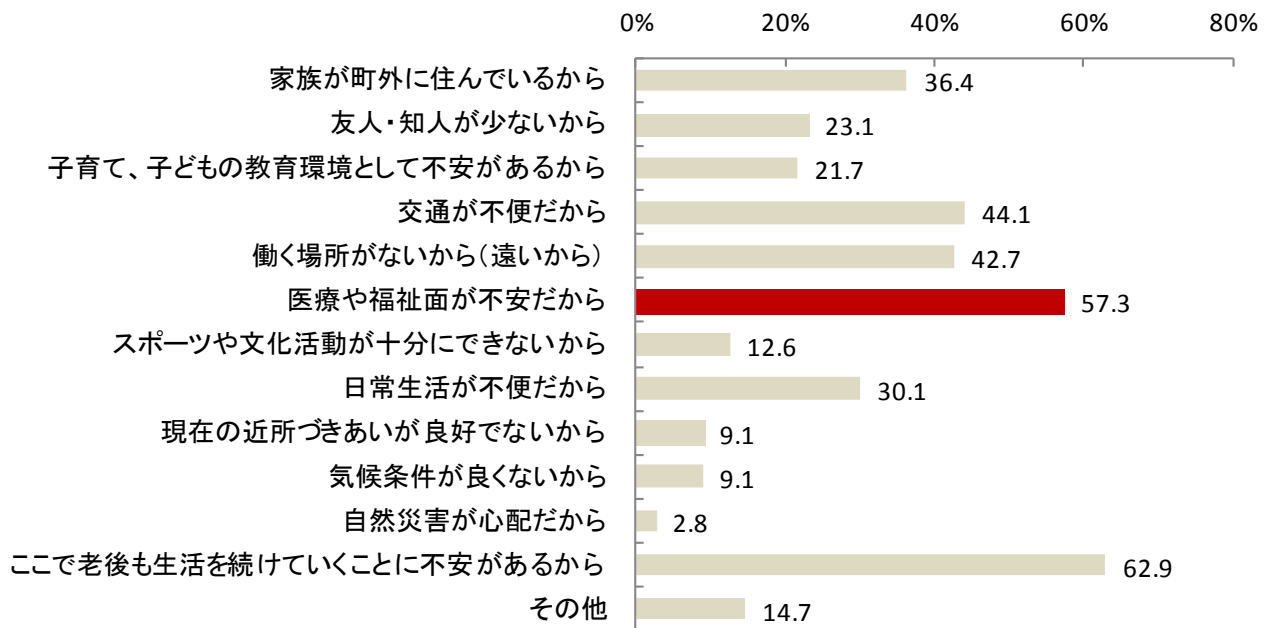
町民

【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)



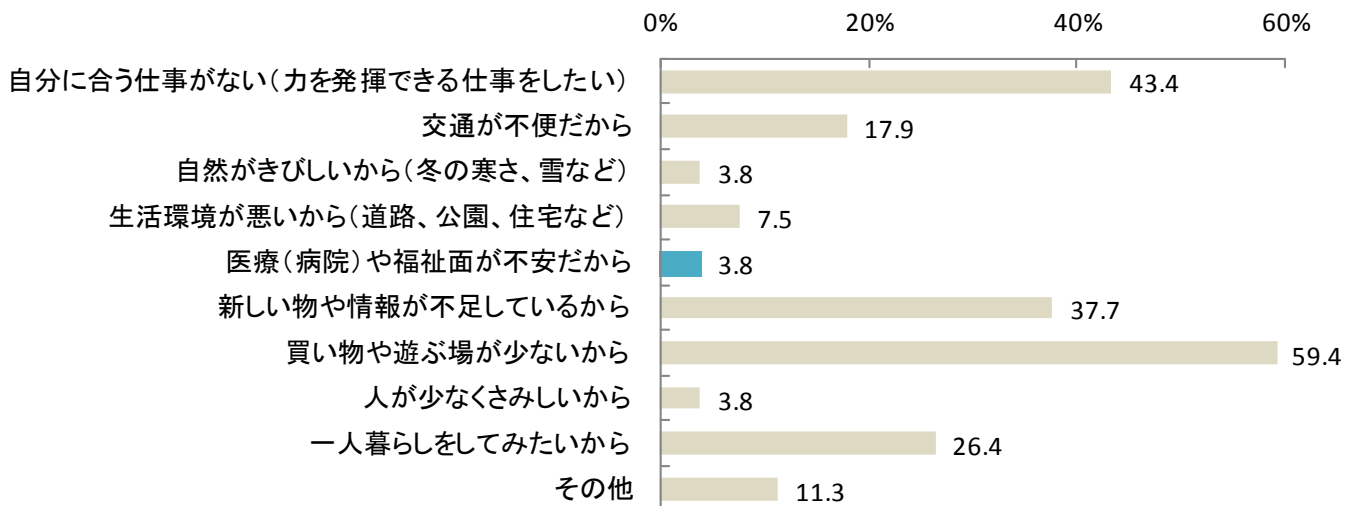
町民

【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)

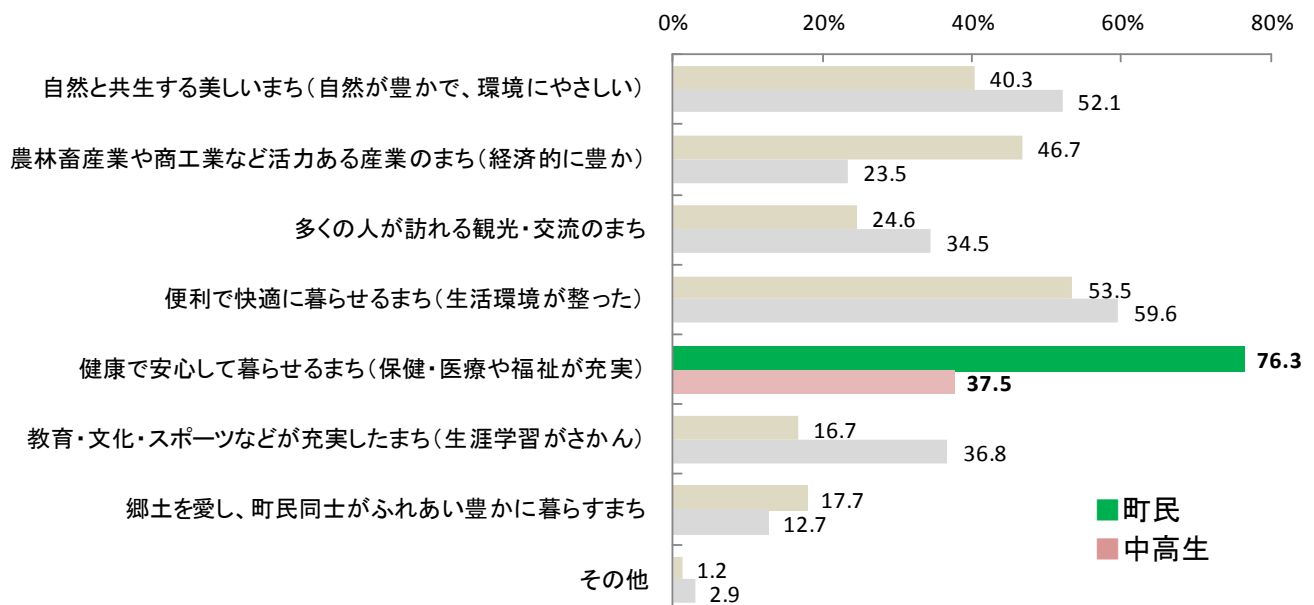


中高生

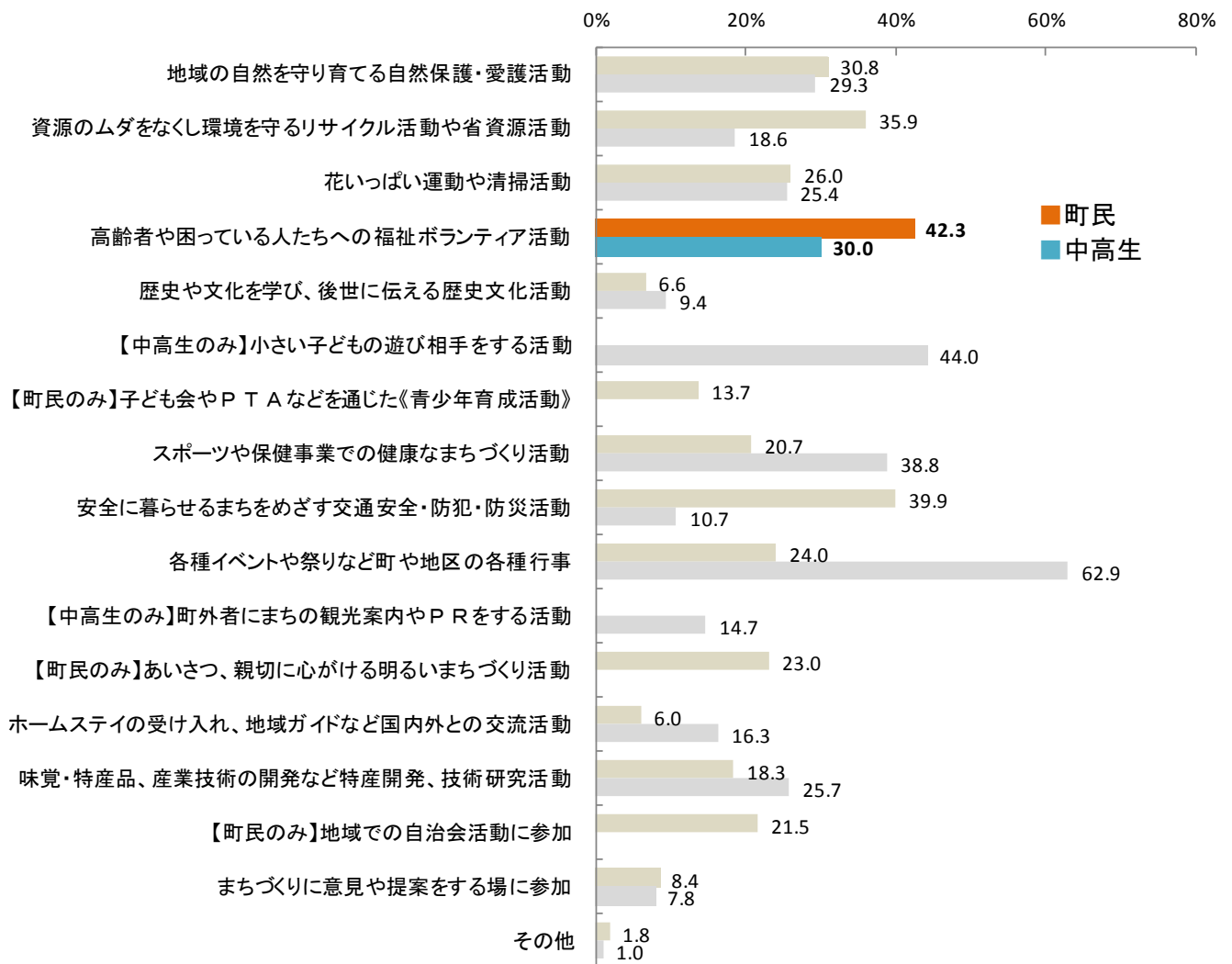
【問3-①】町外に住みたい理由(あてはまるものすべて選択)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



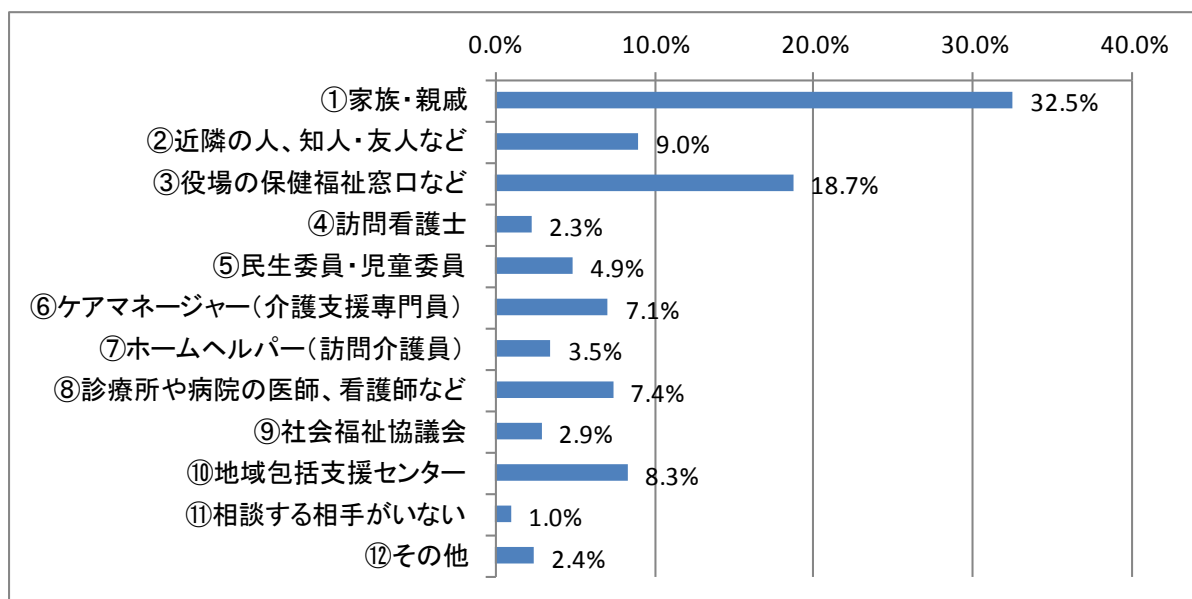
【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択(上段:町民、下段:中高生))



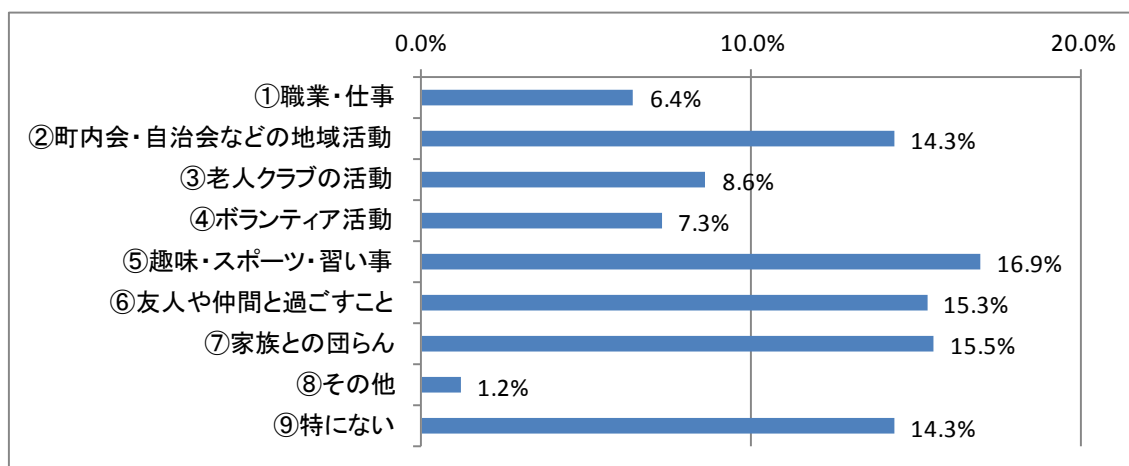
高齢者福祉に関するアンケート調査より (H26.4)

※65歳以上の方が回答

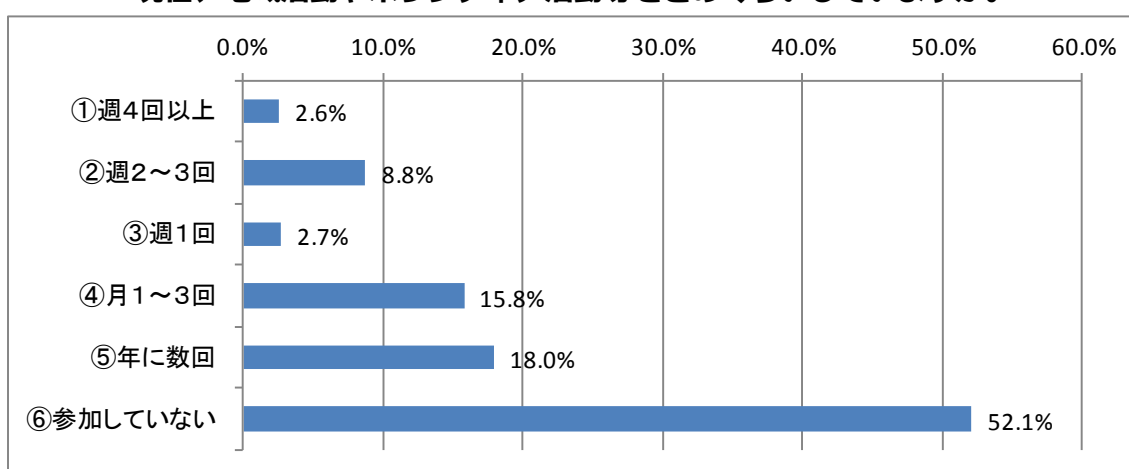
介護や福祉に関する相談を誰にしていますか。あるいは、誰に相談したいとお考えですか。



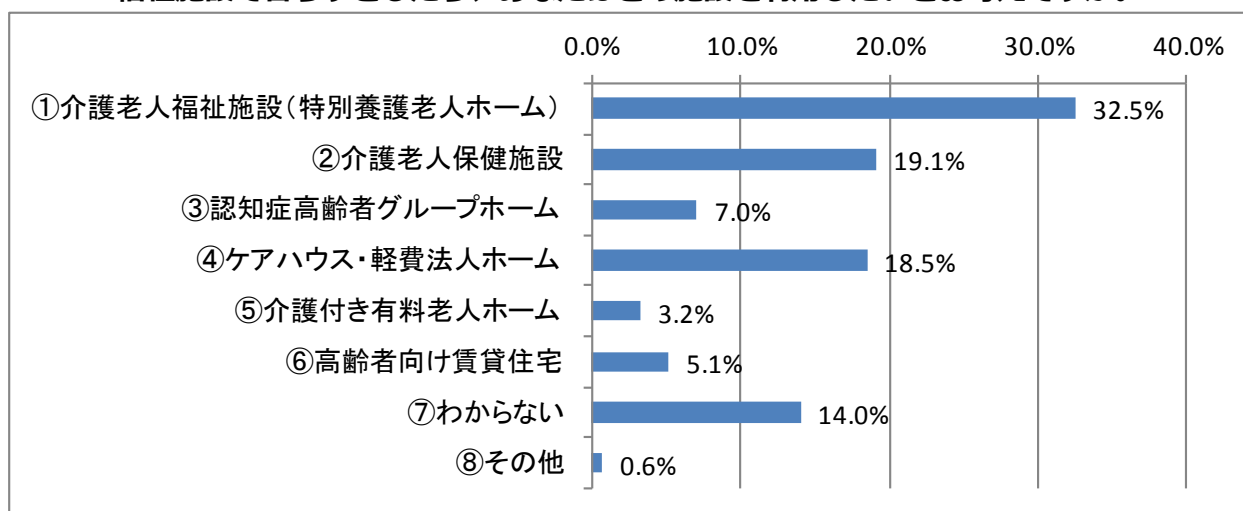
地域活動（町内会、自治会、老人クラブなど）やボランティア活動等をしていますか。



現在、地域活動やボランティア活動等をどのくらいしていますか。



福祉施設で暮らすとしたら、あなたはどの施設を利用したいとお考えですか。



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
高齢社会への対応	高齢者保健福祉計画※・介護保険事業計画※の遂行	第5期計画の推進により高齢者にかかる施策が総合的に推進され、また介護保険事業の安定的運営が図られている。	従来の予想を上回る超高齢化社会への対応。	第6期総合計画の策定を現在行っている。
	高齢者虐待防止および早期発見のための体制の整備	高齢者虐待防止ネットワーク会議を開催し、支援体制の検討を行う。虐待防止講演会の開催により啓蒙啓発を図る。	虐待対応後の支援体制について	制度の周知啓発による早期発見及び支援体制の連携
	緊急通報装置の整備による高齢者等の安心の確保	平成26年7月末現在225台を各家庭に設置済。非常時の高齢者等の迅速な対応を図る。	設置済装置の更新。消防設置のセンター装置の更新について	制度の周知により普及を図る。
自立生活の支援	介護予防メニューの開発と充実	自治会単位の介護予防教室など積極的に地域に出向いた事業を地域包括支援センター職員と町職員と一体で展開し、その際の健康相談等において支援を必要とする対象者の発掘の機会ともなっている。	認知症状がより要介護認定に反映されるようになり、また病状の悪化や転倒・骨折が多い傾向にあることから、認知機能の維持や転倒予防を特に意識した事業の取り組みが今後ますます必要となる。	今後も介護予防や認知症予防の周知活動を地域に出向いて行う機会を増やすと共に、民間ボランティアとも協働した地域ぐるみの介護予防の展開を推進する。
	認知症※に対する支援体制の整備	やすらぎ～認知症老人介護家庭への介護負担の軽減が図られている。 折り梅～認知症に対する町民フォーラムの開催やパンフレット配布により認知症の理解が図られている。	認知症高齢者の増加に伴いより一層の推進が必要となる	活動の周知により普及を図る。
	介護サービス、福祉サービス、地域における福祉資源、事業者等との連携	在宅介護のサービス内容や介護・高齢者福祉に関する情報交換等が行われている。	既存の在宅サービスの充実及び拡充について	介護保険制度の改正に伴いより一層の連携を図る。
	在宅サービスの開発と充実	既存の在宅サービスに対する要望等を取りまとめている。	介護保険制度改正に伴い民間ボランティアを含めた地域ぐるみのサービス及び既存の在宅サービスで要望に対応できるのか検討。	地域ボランティア、NPO法人を含めた地域ぐるみの在宅サービスの新たな展開や既存サービスの充実を図る。

高齢者福祉施設の整備	施設の個室化などユニットケア※の推進	平成 24 年 3 月に移転改築を実施し、個室 70 床、多床室 30 床、ショートステイ 20 床の合計 120 床を整備。	要介護認定者の増加に伴う待機者対策について	民間法人へ経営移譲
	ケアハウス※の促進	第 5 期高齢者福祉介護保険事業計画中で整備が計画されているが、交渉していた法人が困難となり、民間主導を前提としているため建設年度は未定。	民間事業者との協議が整わず。	引き続き、民間事業者と協議を行う
	高齢者生活支援ハウス※の整備	福祉寮老朽化に伴い代替施設として重要だが、民間主導を前提としているため建設年度などは未定。	民間事業者との協議が整わず。	引き続き、民間事業者と協議を行う
	小規模多機能居宅介護施設※の整備	介護保険の在宅サービスでも重要だが、民間主導を前提としているため建設年度などは未定。	民間事業者との協議が整わず。	引き続き、民間事業者と協議を行う
高齢者の社会参加、生きがい活動の促進	みどり就労センターの支援	みどり就労センター補助金 350 万円の助成	法人化については他市町村の状況や適正就業の規制の情報収集をして検討。	補助金交付
	高齢者のニーズに対応した学習機会の充実	歴史・自然・産業・文化等幅広い学習内容で計画を組み、高齢者の学ぶ機会の充実を図っているほか、明和大学卒業生の自主的な活動を支援し、個々のつながりを深めることにつなげている。	就労年齢の高年齢化や趣味・価値観の多様化により、ここ数年定員割れが続いている。また、卒業生組織の加入率も低くなっている。	大学運営方法の改善を検討するとともに、関係機関との連携により情報収集を行い、充実・安定した活動と支援を目指す。
	高齢者の自主的な活動の促進	運営費補助により高齢者の生きがいの促進や地域活動への参加が図られている。	単位老人クラブの会員減少や高齢化による活動縮小など	補助金交付

※高齢者保健福祉計画：地域における高齢者の保健福祉水準の向上をめざすための計画。

※介護保険事業計画：介護保険事業にかかわる保険給付を円滑に進めるための計画。

※認知症：脳血管疾患やアルツハイマー病といった病気などが原因で、記憶、判断、言語、感情などの精神機能が慢性的に減退することによって日常生活に支障をきたした状態。（従来の「痴呆症」という用語に替わり、平成 16 年から用いられている。）

※ユニットケア：施設の個室を 10 人程度のグループに分け、それぞれをユニット（生活単位）として、食事や入浴などの日常生活を送ること。

※ケアハウス：ひとりで生活するのに不安がある高齢者（世帯）が、自立した生活を維持できるように配慮された軽費老人ホーム。

※高齢者生活支援ハウス：自立生活に不安を持つ 60 歳以上のひとり暮らしまたは夫婦のみの世帯を対象とした居住機能と交流機能を備えた小規模多機能施設。

※小規模多機能居宅介護：平成 18 年 4 月の介護保険制度改正により創設された、地域密着型サービスのひとつです。介護が必要となった高齢者（主に認知症高齢者）が、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」の 3 つのサービス形態が一体となり、24 時間切れ間なくサービスを提供できるのがその大きな特徴です。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生 ⚙ : 中高生 ♀ : 育児ママ 自衛隊 ⚙ : 高齢者 ● : 町民 ○ : 職員

【将来なっしてほしい美幌町の姿】

- ☺ お年寄りが便利に生活できる（老人ホームなど）
- ☺ お年寄りが住みよい町

- ⚙ 高齢者が多いと聞いたので高齢者のサポート（いろいろな意味で）をしてほしい
- 「福祉の町」に美幌町を変える。老人介護の問題が何より急務。施設の建設と介護者の育成を早急に！！団塊の世代が8～10年後には後期高齢者になるのに、美幌には受入施設やグループホームが少なすぎる。現在でも多数が入所待ち。このままでは人口流出は防げない。福祉は雇用を生むので、是非美幌を「福祉の町」へ！！（男性・30代）
- 元気な高齢者を一か所に生活させ、近くに病院・医院・歯医者・整骨院等を誘致する。
- 介護予防における環境の充実。福祉に強い町は、町全体が充実しているという個人的なイメージがあるので。

<高齢者支援>

- ⚙ リフォームの相談をどこでしたら良いのか分からなかった。（→何か分からないことがあったら、憩いの家の方に相談すれば、役場の担当者が憩いの家まで出向いてくることもできるので、相談してほしい、ということ案内。）
- ⚙ 今一番心配なのは眼が悪くなって手術を受けようかと思っているが、一人暮らしなので、医者に行き説明を聞いて手術に行き何時間もの手術を受けるということを一人で対応しなければならないと思うと、踏みとどまってしまう。一緒に付き添ってもらえる人がいたら。
- お年よりが増えていくと思うので、買い物が遠い、車がない…などの対策や、病院の充実を考えて頂きたいです。（女性・50代）
- 家、買物、病院が、年を取ると心配。近くに店がない方はかわいそうです。（女性・40代）
- ますます高齢化社会になります。手厚い福祉行政をお願いします。（老人ホームの拡充、医療のサービス）（男性・70代以上）
- 除雪について。体や心臓が悪くなり、除雪は無理となり近くの知人に依頼して居りますが、11月から3月まで約5万円かかり、少ない年金生活では厳しい状態です。何か良い方法をお願いします。家の周辺は高齢者ばかりです。（男性・70代以上）
- 高齢化が進んでいく中で、もう少し充実した施設等があってもよいのでは？と思います。へき地も含めて。（女性・40代）
- 後期高齢者の人達に、ハイヤー、バスの乗り物を半額にして頂きたい。（女性・70代以上）
- 高齢社会です。我が家は三世帯で、90才を越える年寄りがあります。足腰が弱くバリアフリー化し、廊下やトイレ部屋など広くした結果90坪になりました。固定資産税の軽減を受けましたが、たった3年間です。高齢者がいる所にはもっと軽減があっても良いのでは。自分で年寄りを見るという所には、もっともっと優遇しても良いと思います。車椅子を使うには広くなくてはダメなのです。町としてもそのほうが良いと思いますが？（60代）
- 今はまだ60代で、除雪等も何とかできているが、70代になって足腰が弱ってきた時のことが心配。（女性・60代）
- 10年後には団塊の世代が後期高齢者になってしまう。定年の元気な高齢者による高齢者サポート体制を構築する。団塊世代の元気な高齢者がボランティア等、地域で活躍できる体

制づくり。きっと、団塊の世代の介護予防にもつながると思います。

- これからの高齢化社会に向けて、楽しく生きがいを感じられる活躍の場を増やしていく。
- 町内にコンビニエンスストアが多数存在していることから、コンビニと連携し買い物弱者や独居老人への移動販売や配食のサービスを行う。

<関連施設>

- ※ 憩いの家にはお風呂があるのでいいが、峠の湯に行こうとなると遠い。今は送迎バスも運行していない。
- ※ 憩いの家は広報で知った。また、他の活動に参加するのも広報にあった案内を見て参加したりする。自分は広報を見て、比較的積極的に出向くが、多くの方は、いいなと思っててもそこからの一歩がなかなか踏み出せないのでは。
- 今後増える老人に対して、老人ホーム等の充実。
- 老後の心配なくホーム入居ができる施設。(美幌は少ない!)(女性・30代)
- 現在グループホームの介護職員という事もあり、やはり医療や福祉の面をもっと充実させてほしいと感じています。私のグループホームでも、介護職員が不足しており、求人をしてなかなか集まらない為、少ない人数でなんとか頑張っているのが現実です。また、限られた資金の中でやりくりすることもあり、毎月測定する体重も、車椅子の入居者は抱えて測定しており、車椅子に乗車したまま測定出来る体重計も購入出来ません。私でも出来る事があれば、活動させて頂きたいと思っていますので、まずは、介護職員の意見や要望等を提案出来る場を作って頂きたいです。それが医療や福祉の充実に生かされると嬉しく思います。(女性・30代)
- 認知症が顕著であっても、いろいろな事情の為に独居生活を余儀なくされている方々の支援は、介護保険のみでは隙間をうめる事が難しい。さりとて、認知症の知識がなければ、社会資源の活用も限られて来る。安心安全な生活を継続できる為に、必要時に直ぐに関係者が集まり協議する場をどう作るか。特に自立、要支援者の方々にとっては、喫緊の課題である。包括、各事業所、保健師、社協等の真摯な取り組みは理解しているが、もう一歩踏み込み、認知は関係ないと思われる若い世代等に、あらゆる機会に認知予防や、認知症状のきめ細かい啓発、啓蒙等に行政が力を発揮して欲しいと思います。(60代)
- 博物館は見学者がいないので、場所は自然で空気も良いので、町で経営する老人ホームを作ったら良い。収入が入らないのに職員が何人も居るとするのはやめた方が良くと思います。私達老人は、施設に入りたくても何百人も待っている状態では不安でいっぱいです。それから、国保病院の空室を使用する事も考えたらいかがでしょうか。(女性・60代)
- ここ10数年は老人施設の不足が続く。独居老人が多いのでシェアハウスがあると良い。
- 安く入所できる老健施設、家族が働きながら高齢者の介護をしていくうえでのサポート隊に地域で取り組む。
- 高齢者施設は現状でも不足気味の状況にあり、首都圏は更に絶望的状況である。このことは空港が近く環境が良い美幌町の商機であると考え。雇用の創出の面からも一番確実で長期に期待できる。
- グループホーム(認知症対象)や特別養護老人ホームに現在空きが無く、待機者が多数います。また、要介護・要支援の対象とならない老人の入居施設が無いのも現状ですので、町が民間に積極的に働きかけ、施設の建設などをしていただきたい。
- 病気やケガなどでベッドに寝ている時間が長くなると身体が不自由になる方も増えて来ると思われるので、寝たきりにならないようにリハビリ施設の充実が必要と思います。
- 人口増が目的で、医師在住の高齢者向け居住区をつくり、町外から高齢者を移住させる。
- 老々介護者が増加傾向にあることから、今以上の高齢者福祉施設の増設による受入増により、高齢者家族の負担軽減を図る。